

## 平成30年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	塩崎智一
		全体計画						経費区分		-		内線	3414
事務事業名	4164 産地ブランド推進事業												
所 属	150100 産業振興部・農林課												
施 策	05012100 農業の活性化												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	060103 農林水産業費・農業費・農業振興費											
	事業	060000 産地ブランド推進事業											
事業目的						事業概要・効果							
須坂産農産物のブランドイメージの向上、新たな農産物のブランド化が求められているほか、グリーンツーリズムなど新たな農業の展開を想定した取組みが必要。						振興果樹の生産拡大による産地ブランドの構築、体験型農業をはじめとしたグリーンツーリズム・地産地消等の推進もって、ブランド化がすすむ。							

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
新農業創生活動事業補助 1団体 100千円 新品種導入事業補助 1200千円 農業体験プログラム参加者 90人	新農業創生活動事業補助 2団体 113千円 新品種導入事業補助 1200千円 農業体験プログラム参加者 106人
平成29年度 実績	平成30年度 予定
新農業創生活動事業補助 3団体 300千円 振興品種振興事業補助 1500千円 農業体験プログラム参加者 68人	新農業創生活動事業補助 4団体 400千円 振興品種振興事業補助 1500千円 農業体験プログラム参加者 100人
平成31年度 予定	平成32年度 予定
新農業創生活動事業補助 4団体 400千円 振興品種振興事業補助 1500千円 農業体験プログラム参加者 100人	新農業創生活動事業補助 4団体 400千円 振興品種振興事業補助 1500千円 農業体験プログラム参加者 100人

指標名	グリーンツーリズム体験プログラム参加人数						
算式						単位	人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標	90	90	90	90	90	
	実績	106	68				
指標選定の理由	農業と観光が連携することで、体験交流型農業の推進を図る。						
最終年度目標の根拠	150人（H26）の参加者だが最終年度1.2倍を目標とした。						
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		7,976	6,257
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	1,588	0
	地方債	0	0
	その他	0	40
一般財源		6,388	6,217
人員数(人)	正規職員	1.3	1.2
	嘱託職員	1.0	0.6
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	9,293.7	8,578.8
	嘱託職員	2,766.0	1,659.6
	臨時職員	0.0	0.0
	計	12,059.7	10,238.4
市民一人当たりの経費		0.4	0.3
総額		20,035.7	16,495.4

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	687	講師謝礼687
11節 需用費	318	消耗品63、印刷製本費255
13節 委託費	1,221	食のエンターテイメント発信事業委託料1,221
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	2,568	農業創生活動補助金（伝統野菜3団体）300 園芸産地育成振興対策事業補助金1,500
その他	3,182	役務費、備品購入費ほか

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	6	謝礼6
11節 需用費	550	消耗品費100、食糧費10、印刷製本費360 修繕料80
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	2,640	園芸産地育成振興対策補助金1,500 新農業創生活動補助金400 ほか
その他	3,061	旅費392、役務費75 ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	果実のPR及び振興品種導入により、産地ブランド化の強化と高品質の生産を図り、産地全体のレベルアップすることで、生産農家の所得向上を図ることができる。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	事業の成果等はすぐに表れにくいのが現状。今後も事業を継続することで産地のブランド化へつなげると考えている。また、ブドウの生産農家においては、取引価格の上昇により所得向上へつながりつつある。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや向上
評価コメント	効果判定が難しいが、手法等の工夫により事業効率に努めている。また、県の元気づくり支援金を活用した事業では、委託に頼らない事業へと展開している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

台風や異常気象の影響で品質保持はとても難しく、安定的な農業経営をするためには引き続き支援が必要とされる。また、果樹産地へのブランド化の構築を図るためには、JAや近隣市町村と連携した事業を取組む必要がある。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
グリーンツーリズムほかの都市交流事業の成果が表れ始めているので、継続して推進したい。		伝統野菜の継承と須坂産果物の販路拡大及びブランド化に向けた取組みを継続する。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	